

令和6年度第2回議会報告会（高校生と議会のつどい）実施報告書

開催日時	令和6年11月1日（金） 午後2時05分 ～ 午後3時05分	
開催場所	木津川市役所 第1・2委員会室	
担当議員	班代表者	山本 和延
	司会者	山本 和延
	報告者	
	記録者	草水 基成、谷口 英子
	班員 (上記以外)	宮嶋 良造、兎本 尚之、山崎 光祐
参加人数	高校生 4人（2人欠席）、引率教員	
主な質疑・意見等	<p>◆メインテーマ「高校生から見た木津川市への思い」</p> <p>◆2班テーマ「木津川市のごみ問題について」</p> <p>高Q：南加茂台ー加茂区間の奈良交通バスがなくなってしまうと、南加茂台に住む高齢者の方々の移動手段がなくなる。なくさないで欲しい。</p> <p>議A：国も木津川市も補助金を出して市民の移動手段を確保しようとしている。以前は勤めの方が多かったが、時代と共にバスに乗る人が減った。移動手段をどのような方法で確保できるか、今後の課題で議論が必要。皆さんも知恵を出してほしい。</p> <p>高Q：フードデリバリーの配達場所のレパトリーが増えてほしい。</p> <p>議A：宅配ピザ、飲食店を増やしてほしいというご意見は同感する。</p> <p>高Q：幼稚園の送迎バスを送迎する保護者等の待機場所を作って欲しい。</p> <p>議A：自転車と送迎バス待ちの保護者・園児が衝突しないようにするためのすみ分け対策ができるか担当課に聞く。</p> <p>高Q：駅周辺に飲食店を増やしてほしい。</p> <p>議A：商売が成り立つかなど一定の判断がされているのだと思うが、地域活性化に取り組んで行く。</p> <p>高Q：城山台に保育園は作らないのか。</p> <p>議A：城山台には1つしか保育園がない。木津川市民は市内のどこの保育園にも行けるという仕組みだ。0歳から2歳児まで預かる小規模保育施設が城山台には5つあるが、3歳児以降の預け場所を探すのに苦労されていると思う。本市は公立園を増やす意向はない。</p> <p>高Q：木津駅前などで交通ルールをやぶっている人をよく見るが、子どもの安全は保たれているか。</p>	

議A：木津川市は交通安全が保たれている方だと思う。

高Q：木津川市のごみの問題について（ポイ捨て）こういった対策を取っているのか。

議A：木津川市には、「木津川市空き缶等のポイ捨て、飼い犬のフン放置、落書きのない美しいまちづくりを推進する条例」がある。落書き10万円以下の罰金、ポイ捨てなどは2万円以下の過料。実際に罰金を課すのはハードルが高く、結局は個人のモラルやマナーが問題。地道な啓発活動や特に幼少期からの教育が大事なので、行政や学校に働きかけていく。

◆議会・議員に関すること

高Q：仕事のやりがいを感じる時はどんなとき。

議A：議員となって知らなかったことが多くあったことを実感。仕事や役割が多岐にわたっており、議会や議員として公平公正に取り組み、行政が正しく機能するよう監視する責任を感じている。

高Q：月に休みはどのくらいあるのか。

議A：3月、6月、9月、12月に定例議会がある。会期は約1ヶ月。最終日には、各委員会の採決結果や団体からの請願などの内容を基に議決する。

土日も政治活動や自治体、地域行事等に参加。また専業で議員をしていない方は、議会のない時に他の仕事もしている。議員それぞれ違う。

高Q：議員同士の仲はいいのか。

議A：議会中は意見の対立による議論がある。議会の外では互いに分け隔てなく接している。一年生議員6人で「青葉の会」という交流の場を作っている。

高Q：議員になろうと思ったきっかけは。

議A：地域の世話役をされていた町会議員が、地域のことを熱心に考えられる姿に興味を持った。

高Q：（大学行っていたら）何学部だったのか。法とか社会系……。

議A：商学部だった。政治経済学を必ずしも学ぶ必要はない。色々な経験をして議員になるべきだ。

高Q：楽しかった仕事は。

議A：やりがいと同義としたら、公約を議会の活動を通じて実現したこと。

高Q：一日のスケジュールについて

議A：議会のない日は家事や事務仕事、市民との対話など。この機会に自分の労働時間を調べてみたら約12時間だった。自己管理が必要な働き方だ。議会がある時は一般的な勤め人と同じ時間軸。

高Q：市長とはどういう関係。

議A：議会と市長は緊張関係でなくてはならない。減多に話さない。

◆2班テーマ「木津川市のごみ問題について」

議Q：どんなごみが気になるか。

高A：たばこの吸い殻。

議A：喫煙者は携帯灰皿を持ってほしい。

高A：自販機横のごみ箱から溢れているペットボトルなど。

議Q：そのような状況をどうすれば良いと思うか。

議A：ごみ箱を増やせば良いわけではない。軽量で安いということでペットボトルの生産が増え続けている。いつまでも使い捨ての社会でいいのか考えなければいけない。

議A：飲み終わった瓶を店に持っていったら瓶代が返ってくる。このことをデポジット制という。それをペットボトルにも置き換えていけないか。もし路上に捨ててあっても拾ってお金に換えられる。しかし現状デポジット制は広がっていないし、減っている。

議A：通い瓶を増やしてごみを減らそうとする考えもある。

議Q：皆さんの家や学校でごみの分別をどうしているか。ごみが減らないならどこに原因があるのか。

高A：マンションに住んでいるが、今はペットボトル回収がある。以前はスーパーに持って行っていった。また、ラベルを付けたままだと、ごみ収集車が持って行ってくれない。分別を心掛けないといけないと思う。

議Q：部屋のごみ分別はどうしているか。

高A：部屋にごみ箱が1つあって全部入れるが、ごみ収集日の前日の夜に分ける。

高A：部屋にごみ箱はなく、家のごみ箱に分別して捨てる。

高A：部屋のごみ箱は燃えるごみだけで、他は家のごみ箱に分別して捨てる。

議A：ゴミの捨て方に迷う時は、木津川市の「ごみ分別アプリ」が便利だ。ゴミの捨て方一覧などがあって重宝する。

議Q：木津高校内で環境保全活動はあるか。

高A：木津駅前の清掃活動。校内はゴミの分別がある。ペットボトル類、燃えるごみ、燃えないごみ、缶の4分別。

◆その他

議Q：今日ここへ来る前は議員に対してどんなイメージがあったのか。

高A：雲の上の存在

議Q：今日お会い出来て、議員はただの人であると分かって頂けたと思う。もっと議会を身近に感じて欲しい。将来皆さんが議員になってもい

	い。
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	
そ の 他 特 記 事 項	<p>◆高校生の質問に議員が回答した内容をもとにフリートーク</p> <p>議Q：「推しはいますか」の質問をされた趣旨は。 高A：議員の皆さんは推しや娯楽の時間があるのか知りたかった。 議Q：（推しと）最初に好きになるきっかけは。 高A：Y o u T u b e などから。テレビはほとんど見ない。</p>

上記のとおり、報告します。

令和6年11月29日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

令和6年度第2回議会報告会

2班代表者 山本 和延